

げんきプラザ を活用してみませんか？

～令和4年度・令和5年度・令和6年度 3年間の取組～
「小・中・特別支援学校における教科と関連付けた体験活動」



活動の充実



埼玉県体験活動推進協議会3年間の取組について

埼玉県では、学校における体験活動の推進を目指し、学識経験者や体験活動に関する専門家及び学校教育関係者を構成員とした、埼玉県体験活動推進協議会を令和4年に設置し、げんきプラザの体験活動を教科に関連付けたプログラムの開発を行ってきました。

これまで小学校版プログラム(令和4年度)、中学校版プログラム(令和5年度)を開発し、県内の学校へ周知を図ってきました。今年度(令和6年度)は、特別支援学校版プログラムを開発しました。これまで3年間の取組を本リーフレットにまとめました。

体験活動の現状と学習指導要領での位置づけ

体験活動については、様々な調査結果から次の有用性が明らかになっています。

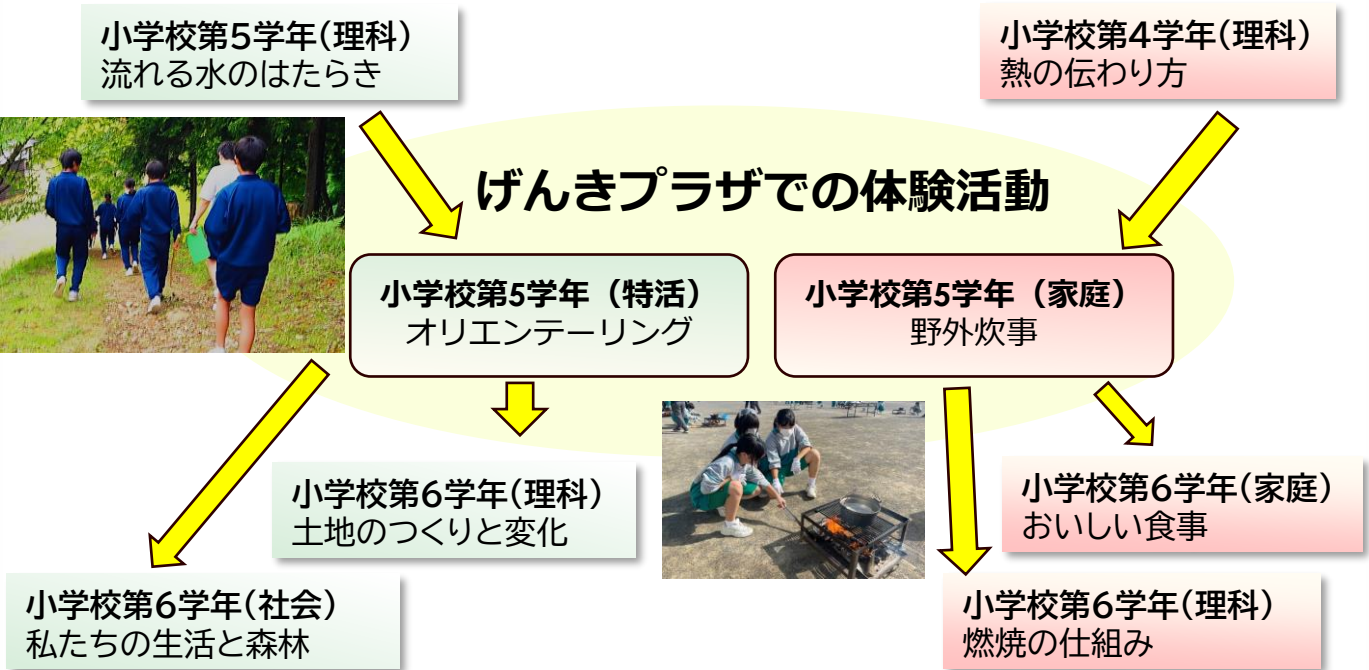
- ①自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基礎となる「自己肯定感」を高める。
- ②集団での活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的な学び」ができる学級づくりにつながる。
- ③実感を伴った理解は「深い学び」につながる。

また、学習指導要領では、自然や文化に触れる体験を通して学校における学習活動を充実させることや、校外における集団活動を通して人間関係を深めることなど、体験活動が重視されています。

体験活動の有用性とカリキュラムマネジメント

豊かな自然環境を有するげんきプラザで、学校での学習を生かし、体験活動と結びつけることで、実践的で探究的な学習活動になり、よりよい暮らしや持続可能な社会を創造する態度の育成につながります。ここで紹介するプログラムは、学校での事前学習からげんきプラザでの体験活動までを一連の流れとしてまとめたもので、「主体的・対話的で深い学び」につなげた授業展開の例として、各教科等で身に付ける「資質・能力」をさらに高めることにもつながります。

「主体的・対話的で深い学び」につながる体験活動と授業の実現のためには、「カリキュラム・マネジメント」が不可欠です。具体的には、各教科等で育成をめざす資質・能力を明確にし、それを育む上で効果的な学習内容や活動を、教科等横断的な視点と体験活動で組み立てることが重要です。



教科に関連付けたプログラム例

集団宿泊活動は、「特別活動」における「学校行事」の中の「遠足・集団宿泊的行事」(小学校)に位置付けられますが、いろいろな活動の一部について、その教育活動の位置付けを見直し、学校での事前事後指導を適切に位置付けることなどにより、理科や体育等の教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間等との関連を図ることによって、教育効果を一層高めることができます。下記、プログラム例を参考にしてください。

【プログラム例】

- 社会…私たちの生活と森林(登山、オリエンテーリング)
- 理科…月と星、流れる水のはたらき(天体観測、自然観察)
- 図工・美術…絵や立体、工作、鑑賞(クラフト活動)
- 家庭…栄養を考えた食事、中学生に必要な栄養(野外炊事)
- 体育・保健体育…けがの防止、心身の機能の発達と心の健康(登山、オリエンテーリング等)
- 道徳…生命の尊さ、自然愛護
- 総合…各校で定める環境問題、防災教育、SDGs 等



集団宿泊活動を年間指導計画に適切に位置付けるためのステップ



特別支援学校の集団宿泊活動にあたっての留意事項

特別支援学校で、げんきプラザを活用した集団宿泊活動を実施するにあたっては、下記に留意して実施すると、より高い学習効果を得られることが考えられます。各プラザには事業専門の職員がいますので、是非ご相談ください。

- ①各げんきプラザで実施可能な体験活動プログラムを把握する。
- ②児童生徒の実態・特性を鑑み、学校の学習活動とげんきプラザの体験活動を連動させ、主体的に活動できる体験活動を選択する。
- ③体験活動を通して、意図的に児童・生徒同士が対話できる展開を設定する。
- ④児童・生徒が場面に応じて考えをもち、集団としての考えを形成できるような場面を設定する。
- ⑤HPに公開されている資料や動画を活用し、事前学習を充実させる。
- ⑥体験活動後に、感じたことや気づいたことを振り返る場や学んだことを生かす場を設定する。

試行事業の紹介 ～大滝げんきプラザ～

令和4年度、5年度の試行事業の詳細は、以下のURLまたは右の二次元コードからご覧ください。



大滝げんきプラザ

<https://genki.spec.ed.jp/ootaki/taikatsususuikyoku>

令和4年度試行事業
秩父市立西小学校 第5学年

【単元名】「SDGsについて考えよう」

【目 標】 体験活動と関連させながら、森林資源が果たす役割や環境保全について、また、SDGsについて理解を深めることができる。

施設での体験学習【9時間】 課題の追求、解決

○総合的な学習の時間

- ・薪作り体験
- ・屋外炊事でのカレーライス作り
- ・焼き板体験

○特別活動（学級活動）

- ・キャンプファイアで仲間づくり



令和5年度試行事業
横瀬町立横瀬中学校 第2学年

【単元名】「木材の加工について学ぼう」

【目 標】 材料加工を行うための基礎的な理解を図るとともに、薪づくり体験、間伐体験を通して学習課題を見出し、よりよい暮らしの実現や持続可能な社会について考え、材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けることができるようにする。

施設での体験学習【5時間】 課題の情報収集、追求、解決

○技術

- ・薪づくりを通して、木材の特性や性質について理解する。
- ・間伐体験で木材加工の過程や林業について理解する。
- ・フィールドワークで良質な建築材となる条件を考える。



何を学ぶか

「林業体験と炊事体験をしよう」

生活に役立てるために、林業体験から屋外炊事への一連の加工・調理する体験や仲間と協力する体験を通して積極的に課題を見出し、主体的・実践的な態度を身につけることができる。

どのように学ぶか

学校での事前学習【1時間】

課題の把握、設定、動機づけ 【生活単元学習】

- ・大滝げんきプラザでの活動を知る。
- ・大滝げんきプラザにある木の特徴を知る。
- ・木に触れる体験を通して、木材の関心を高めさせる。

体験学習【4時間】

課題の情報収集、追求、解決 【生活単元学習】

- ・木の皮を剥いだ丸太を確認する。
- ・薪割りとカレー作りの体験を通して、木材や調理について理解する。
- ・活動中に投げかけた課題を仲間と対話しながら木材加工や調理を進める。

学校での事後学習【4時間】

整理、分析、まとめ、表現 【生活単元学習】

- ・体験活動を通して学習したことをまとめる。
- ・自分がうまくできたところや、できなかったところに気づく。
- ・薪作り・調理で培った仲間との協力について、生活で活かせる場面を考える。

何ができるようになるか

【育成する資質・能力】

【知識及び技能】

- ・仲間と協力し、作業に取り組むことの大切さを理解できる。
- ・林業体験や炊事体験への一連の活動を通して、生活に活用できる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・学習活動の課題発見、問題解決、振り返りを行い、自ら改善・修正について考えることができる。
- ・利用目的に合わせた薪作りや調理ができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・薪作りから屋外炊事の一連の体験活動を通じて、生活に活かす技術を主体的に身につけようとする態度を養う。



「木材加工」の様子



「野外炊事」の様子

先生からの声・生徒の声

生活単元学習に関連付けた体験活動は、見通しをもって粘り強く取り組む生徒の姿が多く見られました。げんきプラザを活用して学習する価値を感じました。
(先生)

宿泊学習後は、役割分担をしたり友達に声をかけ一緒に準備をしたりするなど、学校生活の中でクラスの友達同士の関わりが、以前よりも増えました。(先生)

木の性質を学習する出前授業が当日の体験学習に繋がり、大変有意義でした。生徒同士が対話を交えながら協力して活動する場面が多く見られました。(先生)

薪割りやカレー作りを通して、仲間と協力する大切さやチャレンジする気持ちをもちました。とても楽しく学びのある2日間でした。
(生徒)

友達と話し合って活動する良さを感じました。学校の中でも宿泊学習で体験したことを活かしていきたいです。(生徒)

薪割り体験では、班の友達と切り方や割り方について、一緒に話し合いながら考えました。協力して楽しい活動ができました。(生徒)

試行事業の紹介 ～加須げんきプラザ～

令和4年度、5年度の試行事業の詳細は、以下のURLまたは右の二次元コードからご覧ください。



加須げんきプラザ

<https://genki.spec.ed.jp/kazo/taisuiyou kazo>

令和4年度試行事業

熊谷市立三尻小学校 第4学年(出前事業)

【单元名】「よりよい人間関係をつくろう」

【目 標】 人間関係づくりプログラムを中心とする様々な体験活動(アクティビティ)を通じて、児童が互いに協力しながら問題解決を図り、「よりよい人間関係」を形成することができる。

出前事業での体験活動【4時間】

○特別活動(学級活動)

- ・ビーイング(事前): 個人やグループでの目標設定とその実現に向けた計画作成
- ・アクティビティ : 人間関係づくりプログラムの実践、よりよい人間関係形成のための資質を習得
- ・ビーイング(事後): 振り返り、目標に対する達成度の把握



令和5年度試行事業

行田市立忍中学校 第1学年(出前事業)

【单元名】「体験活動を通じて、よりよい人間関係を築こう」

【目 標】 様々な体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「よりよい人間関係」を形成しようとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、主体的に課題解決を図ることができる。

出前事業での体験活動【6時間】

○総合4時間、理科2時間

- ・ビーイング: グループ目標の設定、個人やグループによる達成度の振り返り
- ・野外炊事体験: 災害時にも応用できる野外炊飯の実施と試食
- ・人間関係づくりプログラム: アクティビティの実践、よりよい人間関係形成のための資質を習得



何を学ぶか

「体験活動を通して、仲間の大切さを知ろう」

体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「仲間の大切さ」を知ろうとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、一人一人の生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、様々な役割を担い、集団全体で取り組むことができる。

どのように学ぶか

学校での事前学習【6時間】

学習活動の把握、知識・技能の習得
【生活単元学習】

- ・加須げんきプラザでの活動を知る。
- ・人間関係づくりプログラムについて知る。

体験学習【12時間】

学習したことの実践

【自立活動】 人間関係づくりプログラム

- ・仲間と活動することの良さを再確認する。
- ・リーダー、フォロワーの役割について考える。
- ・対話による課題解決をする。

学校での事後学習【4時間】

実践の振り返り、知識技能の深化
【国語】

- ・体験活動の様子を写真等で振り返り、活動をとおりて学んだことを確認する。

何ができるようになるか

【育成する資質・能力】

○知識及び技能

- ・仲間の大切さを知るために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。

○思考力・判断力・表現力等

- ・集団内で協議して合意形成を図り、より良い方向性を見出して課題解決を図ることができる。

○学びに向かう力、人間性等

- ・他者の考えや意見を肯定的に捉え、尊重することで、仲間の大切さを知ることができる。



人間関係づくりプログラム
「バゲットボール」の様子



「手打ちうどんづくり体験」
の様子

先生からの声・生徒の様子

食材を切るための用具の工夫や、屋外かまどづくりなど、教師と職員が連絡を取り合い準備することができた。火を使う経験は子供たちにとって新鮮だったようで、恐る恐る薪をくべたり、火にかかった鍋にお米を入れる体験は貴重だった。(先生)

生徒同士の関わりを深められる良い機会になった。普段の学校生活とは違う環境の中でも、互いに協力し合い、一つの目標に向かって行動できることは、今後の社会生活における生きる力になると感じた。(先生)

人間関係づくりプログラムでは、生徒の実態に合った内容の活動ができた。バゲットボールという活動では、大きいボールから小さいボールへと段階が踏まれていたので取り組みやすかった。(先生)

友達と協力し達成感や楽しいという気持ちを共有することができ、良い思い出となったようです。(担当教師による生徒の見とり)

手打ちうどん体験では、生徒がイメージを持ちながら活動に主体的に参加できていたようです。作業や自分がやるべきことを想像し、落ち着いて活動できていたようです。(担当教師による生徒の見とり)

友達と協力して活動する場面では、自分から声をかけたり、手を繋ごうとしたりすることができました。集団での活動に積極的に参加できるようになりました。(担当教師による生徒の見とり)

げんきプラザ総合ページについて

げんきプラザではここで紹介したもの以外にも様々なプログラムを提供しています。
詳細は下記URL又は二次元コードを御参照ください。

【埼玉県立げんきプラザ総合ページ】

<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/genki-plaza/>



埼玉県体験活動推進協議会について

埼玉県教育委員会では、令和4年度から体験活動推進協議会を設置し、げんきプラザを利用した体験活動が、児童生徒の健全育成につながる効果的な体験活動の在り方や、各教科等へ関連付けたプログラムの開発について検討を行ってまいりました。本リーフレットは、3年間の取組をまとめたものになります。

各学校の実態に合わせて、げんきプラザの多様な資源を生かした体験学習が実施されることにより、「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」が実現されることを願っております。

プログラム開発にあたりご協力いただきました協力校の皆様、また、体験活動推進協議会の各委員に厚くお礼申し上げます。

県教育局教育総務部生涯学習推進課 課長 佐藤 直樹

埼玉県体験活動推進協議会各委員から（五十音順）

げんきプラザで体験する様々な活動や生活は、生きる力を身につける貴重な機会になります。障害のある児童・生徒にとってできることは限られていても、初めてのことに挑戦してみることは大きな喜びとなり、自分で「できた」「分かった」という実感はその後の自信にもつながります。げんきプラザでは、すべての子供に豊かな体験の場や機会を提供できるよう環境を整備し、体験活動のUD化や個別支援に取り組んでいます。ぜひご活用ください。

國學院大學人間開発学部 教授
青木 康太郎 氏

子供たちの学びは、実感を伴った様々な体験を通して、生きて働く知識や力になります。子供たちの豊かな人間性や社会性を育み、健やかな成長を後押しする質の高い体験プログラムが「げんきプラザ」にはあります。未来の創り手である子供たちの深い学びの実現に向け、様々な機会に「げんきプラザ」を活用いただくことを期待しています。

県立三郷特別支援学校
教頭 阿相 道子 氏

今回のモデルプランは、特別支援学校に通う子供たちが、げんきプラザの提供する様々なプログラムを通して、豊かで深い学びを体験できる参考例です。学校のニーズや子供たちの実態に合わせて、より効果的な体験活動となるよう、柔軟に対応できます。学校での日々の学習とげんきプラザでの体験が相乗効果をもたらし、子供たちは驚くほど成長します。子供たちの笑顔のために、げんきプラザをご活用ください。

県立加須げんきプラザ 所長
上松 寿明 氏

体験活動は、様々な関わりの中で、感動・驚き等を経験し、考えを深め、実生活や社会、自然の在り方を学ぶ良い機会になります。そこで得た知識や考え方は、様々な課題に取り組み、自らを高め、よりよい生活を創り出す糧となります。良い実践ですので、このリーフレットを活用していただくと同時に、げんきプラザでの体験活動を経験させてあげてください。

県立大滝げんきプラザ 所長
江森 貴文 氏

自ら考え・行動し・学び・成長する体験活動は、子供たちにとってかけがえのない時間です。げんきプラザでは、安心・安全な環境の中、学校のニーズや子供たちの状況に合わせた質の高いプログラムが充実しています。ぜひ、「できた！楽しい！」が溢れる豊かな体験活動を、げんきプラザで実現してみませんか。

県教育局市町村支援部義務教育指導課
教育指導幹 齋藤 直美 氏

体験活動では、学校のニーズ、児童生徒の実態に応じた活動について検討、改善を繰り返し、誰もが楽しく活動するための素晴らしい工夫が活動や施設の中に入ったプログラムになりました。児童生徒が安心感の中、生き生きと活動する姿が成果と言えます。この体験活動が学習へ広がり、深まり、新たな学習へつながるものになると考えます。

県教育局県立学校部特別支援教育課
指導主事 平田 真澄 氏

げんきプラザ利用案内



げんきプラザは集団宿泊、自然体験活動等を通じて、青少年の健全な育成を図るとともに、
県民の生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設として、県内6所で様々なプログラムを提供しています。



施設名	所在地・相談窓口	施設概要	学校向けの主なプログラム
加須げんきプラザ	〒347-0032 加須市花崎456 0480-65-0660	【宿泊人数】 ・100名(宿泊室100) 【主な保有施設】 ・体育館、テニスコート	・人間関係づくりプログラム ・ピザづくり体験 ・手打ちうどんづくり体験 ・野外炊事体験
大滝げんきプラザ	〒369-1901 秩父市大滝5944-2 0494-55-0014	【宿泊人数】 ・418名(宿泊室400、テント18) 【主な保有施設】 ・体育館、天文台	・うどん・まんじゅう作り体験 ・天体観測 ・林業体験 ・焼き板体験
長瀬げんきプラザ	〒369-1312 秩父郡長瀬町井戸367 0494-66-0177	【宿泊人数】 ・140名(宿泊室100、テント40) 【主な保有施設】 ・体育館	・環境学習 ・防災学習 ・ハイキング ・クラフト体験
小川げんきプラザ	〒355-0337 比企郡小川町木呂子561 0493-72-2220	【宿泊人数】 ・265名(宿泊室150、テント15、バンガロー100) 【主な保有施設】 ・活動センター、プラネタリウム、天体観測室	・プラネタリウム ・星空観察 ・クリエイティブウォーク ・クラフト体験
神川げんきプラザ	〒367-0234 児玉郡神川町池田756 0495-77-3442	【宿泊人数】 ・136名(宿泊室100、テント36) 【主な保有施設】 ・体育館、グラウンド、アドベンチャー教育	・アドベンチャー教育プログラム ・アドベンチャーポイントラリー ・火おこし体験 ・クラフト体験
名栗げんきプラザ	〒357-0111 飯能市上名栗1289-2 042-979-1011	【宿泊人数】 ・396名(宿泊室200、テント120、バンガロー76) 【主な保有施設】 ・プラネタリウム	・プラネタリウム ・出前授業(4年・6年向け太陽・月) ・グループチャレンジ ・クラフト体験